

D: どかんと
M: 儲けようよ♪

すずきDMライター通信



良いアイデアが出ない時ってありませんか？（その2）

前回のニュースレターで、アイデアに困った時の、大量アイデア創出法についてお話しします。と、予告しました。

では、始めます。

その前に、アイデアについて、クリエイターのバイブルと呼ばれる本から一節をご紹介します。

『アイデアとは、既存の要素の新しい組み合わせ以外の何ものでもないということである』（アイデアのつくり方 ジェームス・W・ヤング著 阪急コミュニケーションズ刊）

しかし、既存の要素の新しい組み合わせといっても、普通に考えていけば、先入観の入った関連性のある要素の組み合わせしか頭に浮かんでできません。

それでは、誰でも考え付くようなアイデアしか発想出来ないでしょう。

そこで、強制的に意外性に富んだ“非常識な発想”をするための1つの方法をこれからお話しします。

その方法とは、小さい頃、誰でもやったことのある、誰でも知っている、あの“遊び”です。

それは、しりとりをしてみる事なのです。

「えっ！しりとり？」とお思いでしょう。実は、このしりとりがあなたの発想力を上げる、絶好のツールなのです。

まずは、テーマを決めます。

そして、しりとりの要領で、意味や関連性を全く考えない“思いついた言葉”をどんどん出していきます。

その“思いついた言葉”と“テーマ”を強制的、言い換えれば「無理矢理」に関連づけを考えていくのです。

新商品や企画案などで、この方法を試して見て下さい。

脳みそに“大粒の汗”をかいて見て下さい。

あなたのビジネスの黄金時代を築く、誰にも考え付かないような素晴らしいアイデアが生まれるかもしれませんよ。

（※参考書籍 安達元一 藤本孝之監修 『アイデアを脳に思いつかせる技術』 講談社+α新書）

編集後記

（今回は、鈴木DMライター事務所おすすめの本はお休みします。）

シマッタ！！

文章は、「執筆2割、推敲8割」と言われているくらい、執筆よりも書き上げた後の方が大切になってくるのです。

なぜ、こんなことをお話しするのかというと、前回第1号で、発送した後に「しまった！」と気が付いた事があったからです。（お恥ずかしい・・・）

それは、この部分です。

【ハンバーガーを初めて考えた人は、素晴らしいアイデアにもかかわらず、「ナイフとフォークを使わないで片手でかぶりついて食べるの？なんてお行儀が悪い食べ物なの！」・・・頭の固い人から猛反発を喰らって、へこんでいたかもしれないのです。】

何だか、長ったらしくて、読みづらいですね。

そこで、この文章を3つに分割してみました。

【①パンの中にハンバーグを挟んで食べるアイデアは、素晴らしいアイデアです。

②しかし最初は、頭の固い人から「ナイフとフォークを使わないで片手でかぶりついて食べるの？なんてお行儀の悪い食べ物なの！」と、猛反発を喰らっていたかもしれない。

③ハンバーガーを初めて考えた人は、そんな猛反発を受けてへこんでいたかもしれないのです。】

文章を3つに分割したことで、少し読みやすくなったのではないのでしょうか？

1つの文章が「長いなあ」と思った時は、いくつかに分割できないか考えて見ましょう。

8月のちょっと変わった記念日

（私の独断で選んだ、ちょっと変わった記念日をご紹介します）

8月2日 カレーうどんの日

8月4日 ビアホールの日

8月5日 はしご車の日

8月6日 ハンサムの日

8月8日 プチプチの日

8月8日 おばあさんの日

8月9日 はり(鍼)・きゅう(灸)・マッサージの日

8月10日 焼き鳥の日

8月13日 怪談の日

8月17日 パイナップルの日

8月31日 野菜の日

すぐに役立つ366日記念日辞典 創元社刊より
この本は、「販促キャンペーンをしたいけど、キャンペーンをする理由がない」時など、ネタに困っている時に活用できますよ。

発行者：鈴木DMライター事務所

〒553-0003

大阪市福島区福島4-6-2

吉川産業ビル 206号

電話（携帯）：080-2434-5395

メール：info@kyoukan-copy.com

URL：http://kyoukan-copy.com

